

<p>1 学校教育目標</p> <p>教育目標…… 地域を愛し、地域からも愛される児童の育成 めざす児童像…… ○自ら学ぶ子 ○心豊かな子 ○がんばる子 めざす学校像…… ○魅力ある学校 ○美しい学校 ○地域とともにある学校</p> <p>中・長期目標…… かかわり合いを大切に、豊かな心とたくましく生き抜く力を育む教育の推進</p>
--

<p>2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)</p> <p>○令和2・3年度のプロگرام教育研究協力校として実践研究を積んできた成果を児童のICT活用能力の育成と絡めて一体的に促進していきたい。また、令和4年度から取り組んでいるキャリア教育の推進を軸に、小中一貫教育推進に向けて、全教職員が課題、目標、共通取組事項、学方向上プランを共有し、PDCAサイクルによる取組を行ってきたい。今後も継続的な取組を進めたい。</p> <p>○道徳科については、これまでの取組を引き継ぎ、さらによりよい授業づくりを努めたい。外国語科も同様に、日々の実践と研修を通して深まりのある取組を展開したい。</p> <p>○コミュニティ・スクールや地域協育ネットの取組のもとで小中一貫教育を進めたい。また、キャリア教育実践推進地域として、中洋小や灘中と連携したキャリア教育の推進を図ることを通じて、地域連携教育の充実に向けて、全教職員の参画意識の向上をめざしたい。</p> <p>○人材育成においては、校内人材育成委員会を中心に、計画的な初任者研修・フォローアップ研修等を展開していきたい。また、教職員面談を活用し、キャリアステージに応じた教職員の資質向上研修に取り組んでいきたい。</p> <p>○働き方改革の推進については、昨年度以上に効率的な業務の進め方が展開できるよう、教職員一人一人の働き方について考える場を模索していきたい。</p>

<p>3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題</p> <p>(1) 将来にわたっての学習の基盤となる資質・能力の育成 ①「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善に取り組む。②キャリア教育の視点からの授業改善に取り組む。③プログラミング的思考を育む授業実践を展開する。</p> <p>(2) 道徳教育の充実 ①道徳教育推進教師を核に全校体制による考え議論する授業実践に努める。</p> <p>(3) 心の教育の推進 ①心を開き、心を癒し、心を伝え合う教育活動を展開する。②相談活動を充実し、いじめや不登校等、児童一人ひとりに寄り添った取組の継続・強化に努める。</p> <p>(4) 地域とともにある学校づくり ①「学校運営」「学校支援」「地域貢献」の3つの視点から取組の充実を図り、児童一人ひとりの心に響く地域連携活動を推進する。</p> <p>(5) 人材育成と組織力の向上 ①校内人材育成委員会を核に初任者研修、フォローアップ研修を通して資質向上に取り組むと共に、教職員面談を活用しキャリアステージに沿った研修の促進を図る。②学校運営協議会を通して教職員の参画意識の向上に努める。③「働き場改善」に向けた取組を一層推進する。</p>
--

評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	取組状況および成果・課題	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	5 学校関係者評価	
							学校関係者からの意見・要望等	評価
教育課程・学習指導	1 将来にわたっての学習の基盤となる資質・能力の育成	「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善 ・キャリア教育の視点からの授業改善 ・ユニバーサルデザイン授業の工夫	授業評価の肯定率 90% 一人一授業公開の実施 研究授業年2回実施 資質向上研修の実施	○学校での学習はよく分かるの問いに対して93%の肯定率となっている。 ○各担任は、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に取り組んでいる。 ○キャリア教育推進校として、灘中学校、中洋小学校と連携し、提案系のある授業やポートフォリオへの取組を行い、発表会において広く紹介することができた。	3	○3校合同による校内研修が充実した。 ○学方向上プランをもとに実践に努めた。今後とも今年度で学習内容の定着をめざしていきたい。 ○基本的な学習習慣や家庭での学習習慣が身に付きにくい児童へ、地域の方のご協力を得て宿題サポートなどの取組を行った。今後も家庭との連携に引き続き努めていきたい。	「学習がよく分かる」と回答した児童が9割に達しているのは大変よい。 「道徳で学んだことを実生活に生かそうとしている」に肯定的に児童が9割を超えているのは大変よい。これからも地域の力を活用して学力の向上を図ってほしい。	4
	2 道徳教育の充実	・考え議論する「特別の教科 道徳」の授業づくり ・発問、話し合い活動の工夫 ・評価や道徳ノート活用の工夫	学校評価の肯定率 4 : 90%以上 3 : 70%以上90%未満 2 : 60%以上70%未満 1 : 60%未満	○「特別の教科 道徳」を要としながら、各学年において道徳教育に努めている。 ○道徳の時間「学んだら気付けたりしたことを実生活に生かそうとしている」との回答の肯定率は96%と高い。 ○家庭や地域との連携の強化に向けた一層の取組が今後の課題である。	4	○道徳参観日を実施し、考え議論する道徳の授業づくりに努めた。 ○道徳教育を進めており、個人差はあるものの児童の心の姿が見られるようになった。		
生徒指導	3 心の教育の推進	・児童一人ひとりの心を耕す学校づくり ・きめ細かな相談活動の充実	授業評価の肯定率 学校評価の肯定率 4 : 80%以上 3 : 60%以上80%未満 2 : 50%以上60%未満 1 : 60%未満	○全教職員が児童一人ひとりの理解に努めるとともに、学級活動や児童会活動を通して、個々の児童のや役割と活躍の場を創出し指導に努めている。 ○定期的な生活アンケートにより、児童の心に寄り添った指導を行い、いじめの未然防止、早期発見に継続して取り組んでいる。	4	○一人ひとりを見つめ大切に教育を展開している。 ○生活アンケートや日々の声かけの積み重ねにより、児童間のトラブルの未然防止に努めている。 ○今後も家庭や地域との連携に努めていきたい。	「学校が楽しいと子どもが言っている」についての保護者の肯定率が9割を超えているのは大変よい。 「委員活動が児童主体で活発に行われているがよい。児童一人ひとりが大切にされていると感じる。」 「ICTの活用が盛んになる中、人間関係づくりは人と人が繋を合わせることも重要と思われる。人と人との交流を一層深めてほしい。」	
	4 コミュニケーションスキルの向上	・学校内外でのあいさつ運動の充実 ・授業における基礎的・汎用的能力としてのコミュニケーション力の向上	学校評価の肯定率 4 : 80%以上 3 : 60%以上80%未満 2 : 50%以上60%未満 1 : 50%未満	○児童のあいさつについての肯定率は89%であるが、通学途中のあいさつが十分でないなど、若干の課題が見られる。 ○児童の運営委員会では、あいさつの活性化について協議を行うなどあいさつ運動の高まりをめざしている。 ○児童一人ひとりのあいさつに対する意識をさらに高めていきたい。	3	○あいさつや友達との人間関係づくり等におけるコミュニケーションスキルの必要性が年々高まってきており、児童の主体的な取組が望まれる。 ○地域交流の拡充などによって、児童の思いやりや心豊かなを育んでいきたい。	4	
	5 健やかな体づくりの推進	・体育、保健の一体的な取組の推進 ・体力向上に向けた具体的な取組の推進 ・保健だよりや学校保健安全委員会の充実 ・教育の推進等における取組の連携強化	学校評価の肯定率 4 : 90%以上 3 : 80%以上90%未満 2 : 60%以上80%未満 1 : 60%未満	○体育館工事の影響で、時間定が十分にできないなどの課題はあったが、保健委員会の運動習慣向上の取組など、運動確保の機会に努めている。 ○2度の学校保健安全委員会を開催し、心身の健康づくりに関して家庭への啓発に努めることができた。	3	○1年を継続して、子どもたちの体力向上に向けた取組を行っている。 ○今後とも家庭や地域との連携強化に努めていきたい。		
家庭・地域社会との連携	6 小中一貫教育の推進	・9年間を見通した取組の推進 ・学校間交流、児童生徒間交流の充実	学校評価の肯定率 4 : 90%以上 3 : 80%以上90%未満 2 : 60%以上80%未満 1 : 60%未満	○キャリア教育への取組を軸にして、3校の教職員が協働しての研修を活かすことができた。児童間交流についても6年生の中学校での交流活動などを実施することができた。 ○9年間を見通した学習規律や生活規律については、今後も継続して取り組んでいく。	3	○キャリア教育推進の2年間の取組を終えて、より具体的に子どもたちの姿として取組の成果が現れていると感じている。 ○小中一貫した取組を家庭や地域ともしっかりと連携して進めていきたい。	「地域ポランティアが学校に足を運ぶ機会が多くなり、児童にとっても地域の人々にとってもよい影響が表れている。」 「地域の参加者が固定化してきているので、志ある新たな方々の参加が望まれる。」 「児童と地域のみならず、保護者の方々とふれあえる機会がある」とよい。	
	7 地域連携教育の推進	「学校運営」「学校支援」「地域貢献」の充実 ・児童と地域の方々の交流する機会の充実 ・長期的展望による体制づくり	学校評価の肯定率 4 : 90%以上 3 : 80%以上90%未満 2 : 60%以上80%未満 1 : 60%未満	○児童、保護者の地域連携に関わる肯定率はそれぞれ89%、91%であったが、コロナ禍で中断していた活動がほぼ戻り、地域の方々に様々な形でポランティアとして協力していただき、児童もより実りある活動を展開することができた。	4	○学校支援に関しても引き続き、無理なく継続していき取組を進めていきたい。 ○地域の方々とともに、子どもたちが地域のことを学び考える機会をぜひ実現していきたい。		
人材育成・業務改善	8 組織力の向上	・キャリアステージに応じたOJTの推進 ・教職員間の連携を軸にしたOJTの充実	教職員面談を活用した研修の促進 校内人材育成委員会による計画の確実な実施(初任研、フォローアップ研修等)	○組織的な取組に向けた動きを創り出すために、各主任を軸とした情報共有の機会を設けて、学校運営を進めることができた。 ○校内人材育成委員会を開催し、若手教員の育成に關して共通理解のもと、実践することができた。	3	○組織的なOJTの機会を意図的に設定していくことが必要である。 ○教職員の資質向上に向けた研修の活性化に努めていきたい。	「地域住民のボランティアが教職員の手助けになっていけば嬉しい。」 「学校の教職員の多忙化解消のため、いろいろな業務や授業の手伝いをボランティアで行うような取組を検討してほしい。」 「教職員の心身の健康が何より大切である。体調を崩すことのないよう改善を続けてほしい。」	
	9 働き方改革の推進	・教職員が心身共に健康に取り組むことができるゆとり創造 ・意識改革に向けた具体的な取組の推進	学校評価の肯定率 4 : 80%以上 3 : 60%以上80%未満 2 : 50%以上60%未満 1 : 50%未満	○さまざまな負担の軽減策に努める中で、昨年度と比較し、時間外校内在校時間の大幅な縮減を図ることができた。 ○時間外在校時間が月当たり45時間を超える教員がまだ多数おり、その改善が望まれる。	3	○一層の学校運営のスリム化、教職員の負担軽減に努め、教職員のウェルビーイングの向上をめざしたい。		

<p>6 学校評価総括(取組の成果と課題)</p> <p>○ 昨年度よりキャリア教育推進事業指定校として3校合同での実践研究に取り組み、小中一貫による教職員の研修が充実した。その成果も児童の姿に表れるようになってきており、次年度以降も取組の深化・充実を図ってきたい。</p> <p>○ 授業づくりにも個々の教員が熱心に取り組むとともに、全校体制での研修も進めることができた。今後はその成果が学力調査等の結果に結びつくよう指導の改善を図っていくことが課題である。</p> <p>○ すべての教職員が一人ひとりの児童に寄り添った指導や支援に努めている。今後は教職員の連携を深めて、相補的な指導・支援を一層充実していくことが望まれる。</p> <p>○ 豊かな教職員の資質向上に向けて研修を進められたが、今後は組織的なOJTの推進を図っていくことが課題である。</p> <p>○ 働き方改革の推進については、時間外在校等時間の大幅な縮減など一定の成果が見られた。今後は教職員一人ひとりのウェルビーイングの向上が図れるよう、質の高い集まりづくりを一層めざしていきたい。</p>

<p>7 次年度への改善策</p> <p>○ キャリア教育への取組の成果をもとに、校内研修において各教科における見方・考え方を一層高める授業改善に力点を置きたい。また、その成果が目に見える形で表れるような取組を進めたい。</p> <p>○ 引き続き組織的な指導・支援ができるよう生徒指導体制の確立を図るとともに、教職員一人ひとりの生徒指導力の育成に努めることで、児童一人ひとりの居場所のある学校づくりに努めていきたい。</p> <p>○ 地域連携教育、小中一貫教育に担当教員だけでなく、全校体制で取り組むことにより、一層の深化・充実を図りたい。また、学校・家庭・地域が一体となった取組を進められるよう検討を進めたい。</p> <p>○ 「魅力ある学校づくり」を推進することで、児童はもとより、学校、家庭、地域のウェルビーイングの向上をめざすとともに、教職員のウェルビーイングが高まるような「働き場改善」を一層推進していきたい。</p>
--